

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称：株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		<通信学習課題の内容>  <講義内容> ○介護保険サービス（居宅、施設）、○介護保険外サービス 訪問介護に関する 小認知症対応型共同生活介護の特徴に関する規模多機能型居宅 介護に関する 介護福祉士に関する 高齢者の介護サービスを行ううえで求められる職務の基本的 理解 介護サービス従事者の養成システムの見直しに関する
② 介護職の仕事内容や働く 現場の理解	3	3		<通信学習課題の内容> ○○○○  <講義内容> ○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ （視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所 における受講者の選択による実習・見学等） ○ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまで の一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外 サービスを含めた地域の社会資源との連携
③				
④				
⑤				
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト1、
------------	--------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称： 株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①人権と尊厳を支える介護	3	1	2	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 「高齢者のための国連五原則」 QOLの考え方 ノーマライゼーションに関する バリアフリーとユニバーサルデザインに関する 高齢者虐待(ざやく)待(たい)の種類について</p> <p>&lt;講義内容&gt; 1.人権の考え方 2.人権尊重に関する国連での取り組み 3.わが国における基本的人権の保障 4.医療福祉分野での人権</p>
②自立に向けた介護	4	1	3	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 自立支援に関する 利用者にとっての自己選択・自己決定の意味 利用者の自立に向けた介護に関する次 介護予防に関する 二次予防事業における具体的な取り組みに</p> <p>&lt;講義内容&gt; 1.自立支援とは—— 日々の生活に誇りや自信をもてること 2.「お世話」の介護観からの脱却 3.残存能力の活用——「からだ」と 「こころ」は切り離せない 4.本人の自己選択・自己決定を促し、 尊重する 5.こころの自立—— 生きる希望や意欲を引き出す支援 6.一人ひとりを個別的に理解し、 支援していく</p>
② 人権啓発に係る基礎知識(2時間)	2	2		<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>&lt;講義内容&gt; ●まず前提として、「人権」の定義とは何か、 →「すべての人間が生まれながらにしてもっている人間らしく生きる権利」であるということをおさえます。 ●次に、人権の歴史について説明します。 ・18世紀ヨーロッパで、封建的な絶対王政から市民社会へと変革する際に生まれた近代自然法思想である。 例) *1776年 アメリカ独立宣言 *1789年 フランス革命の際の人権宣言 など ・この頃の人権は、国家権力の市民生活に対する余計な介入を排除し、個人の自由な活動を保障する「自由権」が中心だった。自由権は下記の3つに分類される。 ①精神的自由権：思想・良心、宗教、学問、表現の自由など</p>

				<p>②身体的自由権：不法な逮捕、拘留、拘束からの自由など</p> <p>③経済的自由権：職業選択の自由、私有財産の不可侵など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その後の民主主義の発展とともに、「参政権」「生存権」「労働者の団結権」などが、社会権として人権に位置づけられた。</li> <li>・第二次世界大戦後は、「プライバシーの尊重」「自己決定権」が新しい人権（人格権）として認められた。</li> </ul> <p>●当初の「国家対市民」の構図よりも、「会社対個人」「病院对患者」「マスコミ対個人」「親子間」「夫婦間」などによる人権侵害のほうが大きくなっている点を、現代の問題点として説明します。</p> <p>●現代においては、市民一人ひとりが強い人権意識をもつことが重要であることを説明します。</p>
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト1、ゆまにてナニワ、
------------	----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称：株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。</li> <li>・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            利用者の自己実現の支援            介護実践の原則に関する            「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正に関する            チームケアにおける各種専門職に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>(1) 介護環境の特徴の理解            ○訪問介護と施設介護サービスの違い、○地域包括ケアの方向性</p> <p>(2) 介護の専門性            ○重度化防止・遅延化の視点、○利用者主体の支援姿勢、○自立した生活を支えるための援助、○根拠のある介護、○チームケアの重要性、○事業所内のチーム、○多職種から成るチーム</p> <p>(3) 介護に関わる職種            ○異なる専門性を持つ多職種の理解、○介護支援専門員、○サービス提供責任者、○看護師等とチームとなり利用者を支える意味、○互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供、○チームケアにおける役割分担</p>
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            日本介護福祉士会倫理綱領の内容に関する            利用者のプライバシーについて            介護福祉士の職業倫理に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;            職業倫理            ○専門職の倫理の意義、○介護の倫理（介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等）、○介護職としての社会的責任、○プライバシーの保護・尊重</p> <p>5</p>
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            高齢者の特性に関する            危険予知訓練            感染症対策に関する            感染症予防の基本事項に関する</p>

				<p>高齢者にみられる感染症に関する</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>(1) 介護における安全の確保 ○事故に結びつく要因を探り対応していく技術、○リスクとハザード</p> <p>(2) 事故予防、安全対策 ○リスクマネジメント、○分析の手法と視点、○事故に至った経緯の報告(家族への報告、市町村への報告等)、○情報の共有</p> <p>(3) 感染対策 ○感染の原因と経路(感染源の排除、感染経路の遮断)、○「感染」に対する正しい知識</p>
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	<p>&lt; 通信学習課題の内容 &gt;</p> <p>介護職員の安全衛生に関する ストレスとは何か 介護職員のこころの健康管理に関する 腰痛予防のための健康管理に関する</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>(1) 介護における安全の確保 ○事故に結びつく要因を探り対応していく技術、○リスクとハザード</p> <p>(2) 事故予防、安全対策 ○リスクマネジメント、○分析の手法と視点、○事故に至った経緯の報告(家族への報告、市町村への報告等)、○情報の共有</p> <p>(3) 感染対策 ○感染の原因と経路(感染源の排除、感染経路の遮断)、○「感染」に対する正しい知識</p>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	<p>日本医療企画テキスト1</p> <p>☆副子、三角巾、包帯、消毒ガーゼ、バスタオル、タオル、段ボール、座布団、カーペット、いす</p>
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称：株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	0.5	2.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            介護保険制度創設の背景に関する            介護保険法 2012 (平成 24) 年改正の概要に関する            要支援・要介護認定に関する            介護財源に関する</p> <p>介護保険給付に関する次            介護保険制度における、事業者の指定・更新について            介護保険給付以外の事業に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;            (1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向            ○ケアマネジメント、○予防重視型システムへの転換、○地域            包括支援センターの設置、○地域包括ケアシステムの推進            (2) 仕組みの基礎的理解            ○保険制度としての基本的仕組み、○介護給付と種類、○            予防給付、○要介護認定の手順            (3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割            ○財源負担、○指定介護サービス事業者の指定</p>
② 医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            一定の条件のもと、介護職員が行える医行為に関する            リハビリテーションに関する            医行為に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;            ○医行為と介護、○訪問看護、○施設における看護と介護の役            割・連携、○リハビリテーションの理念</p>
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	0.5	2.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            障害者福祉理念の概要に関する            障害者の定義と手帳制度に関する            障害福祉サービスの種類と内容に関する            生活保護の基本原則および基本原則            成年後見制度に関する            日常生活自立支援事業に関する            虐(ぎゃく)待(たい)防止法に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p>

				(1) 障害者福祉制度の理念 ○障害の概念、○ICF（国際生活機能分類） (2) 障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ○介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで (3) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業
④				
⑤				
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト1
------------	-------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称： 株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションをとることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限のとるべき（とるべきでない）行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            非言語的コミュニケーションに関する            介護におけるコミュニケーションの基本に関する            利用者・家族とのコミュニケーションに関する            聴覚障害者とのコミュニケーションに関する            認知症のある人とのコミュニケーションに関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;            (1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割            ○相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮、○傾聴、○共感の応答            (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた            言語的コミュニケーション、○言語的コミュニケーションの特徴、○非言語コミュニケーションの特徴            (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際            ○利用者の思いを把握する、○意欲低下の要因を考える、○利用者の感情に共感する、○家族の心理的理解、○家族へのいたわりと励まし、○信頼関係の形成、○自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする、○アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い            (4) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際            ○視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術、○失語症に応じたコミュニケーション技術、○構音障害に応じたコミュニケーション技術、○認知症に応じたコミュニケーション技術</p>
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            記録の意義と目的に関する            介護に関する記録の種類に関する            事故報告書に関する            記録の書き方と留意点に関する            報告・連絡・相談に関する            居宅サービスにおけるサービス担当者会議に関する            ケアカンファレンスを行う意義について</p> <p>&lt;講義内容&gt;            (1) 記録における情報の共有化            ○介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録、○介護に関する記録の種類、○個別援助計画(訪問・通所・入所・福祉用具貸与等)、○ヒヤリハット報告書、○5W1H            (2) 報告</p>



				○報告の留意点、○連絡の留意点、○相談の留意点 (3) コミュニケーションを促す環境 ○会議、○情報共有の場、○役割の認識の場（利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼）、○ケアカンファレンスの重要性
③				<通信学習課題の内容>  <講義内容>
④				
⑤				
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト2 ☆文字盤、補聴器、絵カード
------------	------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称：株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢(かれい)・老化に伴う変化や疾病(しっぺい)について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこととからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            寿命と老化の特徴に関する次            知的能力の老化と特徴に関する            老化による心と体の変化に関する            高齢者が転倒しやすくなる原因と、それに対する注意点</p> <p>&lt;講義内容&gt;            (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴            ○防衛反応(反射)の変化、○喪失体験            (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響            ○身体的機能の変化と日常生活への影響、○咀嚼(そしゃく)機能の低下、○筋・骨・関節の変化、            ○体温維持機能の変化、○精神的機能の変化と日常生活への影響</p>
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;            高齢者の健康に関する            高齢者の意識障害に関する            老化に伴う疾患に関する            廃用症候群が引き起こす症状に関する            高血圧症に関する            老人性高血圧の特徴について            老化に伴う疾患「脳血管疾患」に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;            (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点            ○骨折、○筋力の低下と動き・姿勢の変化、○関節痛            (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点            ○循環器障害(脳(のう)梗塞(こうそく)、脳出血、虚(きょ)血性(けつせい)心(しん)疾患(しっかん))、○循環器障害の危険因子と対策、○老年期うつ病症状(強い不安感、焦燥(しょうそう)感)を背景に、「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症)、○誤嚥(ごえん)性(せい)肺炎(はいえん)、○病状の小さな変化に気付く視点、○高齢者は感染症にかかりやすい</p>
③				<通信学習課題の内容>

				<講義内容>
④				
⑤				
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト2
------------	-------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称： 株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	2	1	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 認知症の中核症状について 認知症の人との関わりに関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; 認知症ケアの理念 ○パーソン・センタード・ケア、○認知症ケアの視点（できることに着目する）</p>
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 認知症に似た症状に関する 「改訂長谷川式簡易知能評価スケール」に関する アルツハイマー型認知症と脳血管障害認知症の比較に関する 認知症の原因疾患の1つである前頭側頭変性症（ピック病） 認知症の人の健康管理に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ○認知症の定義、○物忘れとの違い、○せん妄の症状、○健康管理（脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア）、○治療、○薬物療法、○認知症に使用される薬</p>
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1	0.5	0.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 認知症の周辺症状に関する 認知症ケアの基本に関する 認知症の人とのコミュニケーションに関する 「認知症の人のケアマネジメントセンター方式」の特徴について</p> <p>&lt;講義内容&gt; (1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ○認知症の中核症状、○認知症の行動・心理症状（BPSD）、○不適切なケア、○生活環境で改善 (2) 認知症の利用者への対応 ○本人の気持ちを推察する、○プライドを傷つけない、○相手の世界に合わせる、○失敗しないような状況をつくる、○すべての援助行為がコミュニケーションであると考え、○身体を通じたコミュニケーション、○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する、○認知症の進行に合わせたケア</p>

④ 家族への支援	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> 家族への支援に関する 家族介護者へのエンパワメントについて 家族介護者のレスパイトサービスに関する  <講義内容> ○認知症の受容過程での援助、○介護負担の軽減（レスパイトケア）
⑤				
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト2
------------	-------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称：株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障害の概念と国際生活機能分類 (ICF)、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; ICFの考え方 身体障害者福祉法及び同法施行規則別表に定められた身体障害者の定義 障害者基本法に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; (1) 障害の概念と ICF ○ICF の分類と医学的分類、○ICF の考え方 (2) 障害者福祉の基本理念 ○ノーマライゼーションの概念</p>
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知	1	0.5	0.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 視覚障害に関する 聴覚・平衡機能障害に関する 音声・言語・咀嚼(そ)嚙(しゃく)機能障害に関する 脳性まひ内部障害に関する精神障害に関する 発達障害に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; (1) 身体障害 ○視覚障害、○聴覚、平衡機能障害、○音声・言語・咀嚼(そ)しゃく)機能障害、○肢体不自由、○内部障害 (2) 知的障害 ○知的障害 (3) 精神障害 (高次脳機能障害・発達障害を含む) ○統合失調症・気分(感情)障害・依存症などの精神疾患、○高次脳機能障害、○広汎性発達障害・学習障害・注意欠陥多動性障害などの発達障害 (4) その他の心身の機能障害 3.家族の心理、かかわり支援の理解</p>
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 障害受容の考え方に関する 障害のある本人を支える家族への支援として、当事者団体の活動 障害受容の「段階説」に関する</p>

				<講義内容> ○障害の理解・障害の受容支援、○介護負担の軽減
④				
⑤				
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト2 ☆滑り止めテープ、歩行器、各種つえ、いす、白杖、アイマスク、弱視者用レンズ、点字版
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 237

商号又は名称: 株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 ア基本知識の学習			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</li> <li>・尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	4	3	1	<講義内容><通信学習課題の内容> 求められる介護福祉士像に関する 介護の基本的な考え方に関する 医療サービスと介護サービスの「アプローチ」の違い 将来的な介護の考え方に関する
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	2	1	<講義内容><通信学習課題の内容> 感情の基礎知識に関する マズローの欲求階層説について 老年期の人間関係の特徴に関する 老化過程への適応に関する 障害への心理的反応に関する 障害の受容に関する
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3.5	2.5	1	<講義内容><通信学習課題の内容> 人体の構造に関する 人体の機能に関する バイタルサインについて 骨・関節・筋の基礎知識に関する
(合計時間数)	10.5	7.5	3	

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト3、 ☆パジャマ、寝巻き（ゆかた式）、着脱が容易にできる衣類（片マヒ用、後ろファスナー）、ベッド、 車いす、テーブル、イス、バスタオル、タオル ☆エアマット・ビーズマット、ベビーオイル、50%エタノール、紙おむつ
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



## シラバス

指定番号 237

商号又は名称：株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 イ、生活支援技術の講義・演習			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</li> <li>・尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④ 生活と家事	4.5	3.5	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 家事と生活支援の理解に関する 残された能力を活用し、生活能力を高める介護に関する 家事援助と生活支援に関する 家事の援助について 栄養の理解に関する 食品の保存・管理に関する 衣服の役割に関する 洗濯に関する 室内空間ごとの掃除方法に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; 家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援 ○生活歴、○自立支援、○予防的な対応、○主体性・能動性を引き出す ○多様な生活習慣、○価値観</p>
⑤ 快適な居住環境整備と介護	4.5	3.5	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 快適な居室環境づくりに関する 寝たきりなどでほとんどの時間を居室内で過ごす人の居室環境の整備に関する 住居の安全と事故防止に向けた環境整備に関する 介護職員が住環境整備で心がけることに関する 入浴に関わる福祉用具に関する 認知症高齢者の行動特性や安全に配慮した生活環境に関する 介護者の健康を守る福祉用具（機器）に関する 国際生活機能分類（ICF）からみる住宅改修や福祉用具の選択と使用に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; 快適な居住環境整備と介護 快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 ○家庭内に多い事故、○バリアフリー、○住宅改修、○福祉用具貸与</p>
⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	3.5	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 衣服の役割と選ぶときの配慮事項に関する 整容の支援技術に関する 衣服着脱時における支援に関する 口腔（こうくう）ケアに関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; 整容に関する基礎知識、整容の支援技術</p>

				<p>○身体状況に合わせた衣服の選択、着脱、○身じたく、○整容行動</p> <p>○洗面の意義・効果</p>
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	4	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>まひの障害部位に関する ボディメカニクスに関する 体位の種類に関する 移乗・移動時の補助具に関する 車いすの基本構造に関する 車いす介助に関する 歩行介助に関する 移動と社会参加の支援に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援</p> <p>○利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法、○利用者の自然な動きの活用、残存能力の活用・自立支援、○重心・重力の働きの理解、○ボディメカニクスの基本原理、○移乗介助の具体的な方法（車いすへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車いす間の移乗、全面介助での車いす・洋式トイレ間の移乗）、○移動介助（車いす・歩行器・杖等）、○褥瘡予防</p>
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	3.5	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>栄養の理解に関する 食品の調理性に関する 食中毒に関する 食事介助の技法に関する 疾患と食事に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>食事にに関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援</p> <p>○食事をする意味、○食事のケアに対する介護者の意識、○低栄養の弊害、○脱水の弊害、○食事と姿勢、○咀嚼・嚥下(そしゃく・えんげ)のメカニズム、○空腹感、○満腹感、○好み、○食事の環境整備（時間・場所等）、○食事に関した福祉用具の活用と介助方法、○口腔ケアの定義、○誤嚥性(ごえんせい)肺炎の予防</p>
(合計時間数)				

使用する機器・備品等	<p>日本医療企画テキスト3</p> <p>☆各種歯ブラシ、舌ブラシ、巻綿子、コップ、タオル、吸いのみ、受水盆、綿棒、ゴム手袋、口腔洗浄器、手鏡</p> <p>☆車いす、ベッド、布団、介助用ベルト、便座（トイレ）、ポータブルトイレ、介助バー、手すり、スライディングボード、スライディングシート等</p> <p>テーブル、足台、防水布、エプロン、自助具、いす（背もたれやひじあてのあるもの）、クッション、食器（食べやすく工夫されたもの）、ビニール、タオル、ストロー、スプーン、フォーク、はし、吸いのみ、おしぼり、とろみ剤</p>
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称：株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 生活支援技術の講義・演習			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</li> <li>・尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	9	8	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 入浴の意義とからだに及ぼす影響に関する 入浴・整容に関する用具に関する 入浴介助の実際に関する ベッド上での足浴の介助に関する 清(せい)拭(しき)に関する からだの機能低下が入浴・清潔に及ぼす影響に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; 入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 ○羞恥心(しゅうちしん)や遠慮への配慮、○体調の確認、○全身清拭(身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方)、○目・鼻腔(びくう)・耳・爪の清潔方法、○陰部清浄(臥床(がしょう)状態での方法)、○足浴・手浴・洗髪</p>
⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	3.5	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 排泄(はいせつ)の基礎知識に関する 排泄(はいせつ)の福祉用具に関する 排尿障害に関する 排便障害と便秘の予防に関する 排泄(はいせつ)介護の実際に関する</p> <p>&lt;講義内容&gt; 排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 ○排泄とは、○身体面(生理面)での意味、○心理面での意味、○社会的な意味、○プライド・羞恥心、○プライバシーの確保、○おむつは最後の手段/おむつの弊害、○排泄障害が日常生活に及ぼす影響、○排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連、○一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法、○便秘の予防(水分の摂取量保持、食事内容の工夫/繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ)</p>
⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5	4	1	<p>&lt;通信学習課題の内容&gt; 睡眠に関する次 寝室の環境に関する 褥(じょく)瘡(そう)と予防に関する まひや拘(こう)縮(しゅく)がある場合、自分で寝返りができない場合における就寝時の安楽な姿勢への介助について</p>

				<p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害(そがい)するところとからだの要因の理解と支援方法、</p> <p>○安眠のための介護の工夫、○環境の整備(温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室)、○安楽な姿勢・褥瘡予防</p>
⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	8.5	7.5	1	<p>&lt; 通信学習課題の内容 &gt;</p> <p>死へのプロセスと介護に関する 在宅ターミナルケアの要件に関する キューブラ・ロスの「死にゆく人のこころの過程」の5段階に関する 看取りにおける介護職員の基本的態度に関する 看取りにおける家族支援に関する 看取りにおける倫理観に関する</p> <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援</p> <p>○終末期ケアとは、○高齢者の死に至る過程(高齢者の自然死(老衰)、癌死(がんし))、○臨終(りんじゅう)が近づいたときの徴候と介護、○介護従事者の基本的態度、○多職種間の情報共有の必要性</p>
(合計時間数)	50	41	9	

使用する機器・備品等	<p>日本医療企画テキスト3、</p> <p>☆一般浴槽、シャワーチェアー、シャワーキャリー、入浴台、手すり、洗面器、バスボード、浴槽台、便器、滑り止めマット、すのこ、防水シート、クッション枕、バスタオル、タオル、ウオッシュクロス、ヘアブラシ、くし、シャンプー、リンス、石鹸、保湿クリーム、紙おむつ、綿棒、耳栓、つめ切り、ドライヤー、洗髪用パッド、シャンプーハット、バケツ、</p> <p>☆バケツ、洗面器、陰部用洗浄容器、石鹸、シャンプー、リンス、ドライシャンプー、ゴム手袋、やかん、湯せん用ピッチャー、タオル、陰部用タオル、ビニールシート、防水シート、紙おむつ、洗髪器、耳栓、50%エタノール、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、受水盆、つめ切り、保湿クリーム、ベビーオイル、綿棒、着替え、ヘアバンド、くし、ブラシ、安全カミソリ、電気カミソリ等</p> <p>☆ポータブルトイレ、取り付け式手すり、便器(和式・和洋折衷型・洋式)、尿器(男性用・女性用採尿器)、自動吸入式集尿器、各種おむつ、おむつカバー、パッド、ゴムマット、防水布、バスタオル、汚れたおむつを入れる容器、着脱しやすい衣類 トイレットペーパー、</p> <p>☆ベッド、マットレス、マットレスパッド、布団、毛布、掛け布団、枕、クッション、枕カバー、シート、防水シート、ベッドブラシ、タオルケット、洗濯かご</p>
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

### シラバス

指定番号 237

商号又は名称: 株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 ウ 生活支援技術演習			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</li> <li>・尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑬介護過程の基礎的理解	7.5	7.5		<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプランの「総合的な援助の方針」をふまえ、具体的で細かな日常生活動作や生活行為に関する介護計画を立案していく。</li> </ul> <p>①アセスメント：介護職として必要な情報を整理、確認し、生活課題を明確化する。</p> <p>②計画の立案：目標設定、支援内容、方法を決定する。</p> <p>③実施：目標、支援内容、方法を関係する介護職員全員で共有して進める。</p> <p>④評価：目標に応じた終了時に、支援内容等についてモニタリングし、次の介護計画に生かしていく。</p>
⑭総合生活支援技術演習	7	7		<p>&lt;通信学習課題の内容&gt;</p> <p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>(1)基本的な視点「残存能力の活用」と「個別性の高い支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識と技術に基づき「介護予防」と「悪化の防止」といった視点をもち、さらに利用者の残された能力をいかに引き出すかといった視点から介護を提供していくことが求められる。</li> <li>・本人の意向をふまえ、その生活の改善に向けた支援を計画的に行っていくことのできる思考過程が必要となる。</li> </ul> <p>(2)利用者理解の基本姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害を有する部分や「できないこと」に注目するのではなく、懸命に生きる「一人の人」として利用者を理解する態度が大切。</li> </ul>
(合計時間数)	14.5	14.5		

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト3、
------------	--------------

--	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 237

商号又は名称： 株式会社 ISAO コーポレーション

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるか？</li> <li>・尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できているか？振り返る。</li> <li>・就業への勧めと、具体的な業種の紹介説明を行う。また介護知識と技術の更なる向上の為の計木苑的な研修の必要性を具体例を上げ説明する。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の 実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるか？</li> <li>・尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できているか？振り返る。</li> </ul>
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業への勧めと、具体的な業種の紹介説明を行う。また介護知識と技術の更なる向上の為の計木苑的な研修の必要性を具体例を上げ説明する。</li> </ul>
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	日本医療企画テキスト 3、
------------	---------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。